

令和を迎えた高岡市

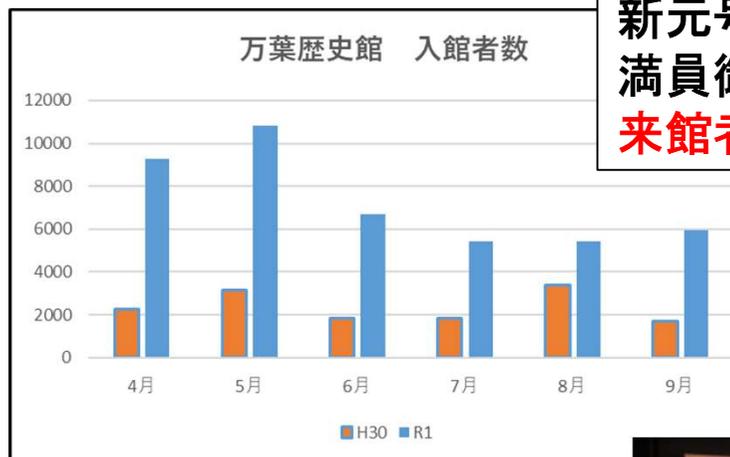
この一年 そして、これから



令和・万葉・高岡

令和時代の万葉のふるさとづくり

1 令和時代の幕開けと万葉歴史館



新元号発表で
満員御礼
来館者6倍に！

令和グッズの制作

ピンバッジ

ミサンガ

2 文化創造都市としての動き



大宰府の梅花の宴
再現パノラマ



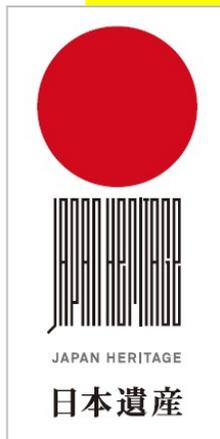
高岡版 梅花の宴
～ゆかりの自治体と～



「万葉トークイベント」

高志の国文学館の中西館長、万葉歴史館の坂本館長、
歌人の小島氏の対談が実現

2つの日本遺産 ①町民文化～人・技・心 ②北前船寄港地



1 「令和」初の御車山祭



令和元年5月1日
改元初日に催行

2 北前船寄港地・伏木港開港120周年記念

開港日記念シンポジウム



令和元年7月12日
～開港120周年記念日～



海自最大護衛艦
「かが」来航



恋する灯台
ライトアップ

3 重要文化財 勝興寺の修復



文化資源の
修復と利活用へ

ふるこはんフェスの賑わい



～「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会～

世界総会 ご一行の雨晴海岸視察



雨晴海岸(国名勝「有磯海」)
湾随一の絶景スポットに感嘆の声



ランチタイム アトラクション
「磯はなび」で、洋遊会の雅楽鑑賞



道の駅 雨晴
H30.4月オープン以来
連日盛況！
賑わっています



歴史まちなみのリノベーション①

～金屋町～



「ミラレ金屋町」

令和元年9月21・22日開催
“見て、知って、体験する”



「さまのこハウス」

地域住民による
移住体験ハウス

高岡の食材を生かした
料理店 続々オープン！

「茶寮 和香(にこか)」

H27.10月オープン

「Latticework BREWING

Tap House」

H30.9月オープン

「旬菜 和輝(わこう)」

H31.1月オープン

歴史まちなみのリノベーション② ～山町筋～



「山町ヴァレー」
山町筋の町家をリノベーション



土蔵造りフェスタ



クラフト市場街

地域のイベント拠点として
活用されています

7つの蔵にそれぞれテナントが入っています

- 【壱之蔵】 麺処 緑菜軒(高岡グリーンラーメン屋)
- 【弐之蔵】 CRAFTAN(昆布締めとクラフトビール)
- 【参之蔵】 Baan 美叡智(マッサージ)
- 【四之蔵】 Shimotaniペレット工房(ペレットストーブ)
- 【五之蔵】 黄色い長ぐつ(カフェ) **R1,11月末OPEN**
- 【六之蔵】 Art craft * Life Creation*(雑貨屋)
- 【七之蔵】 魚一網(魚を中心とした一品料理屋)
- 【八之蔵】 Orii garally 八ノ蔵(モメントムファクトリー・オリイ)



御車山祭宵祭創作神楽「梅の花」
⇒ 「令和」にちなむ文化の創造

スポーツと地域活力

～東京オリンピックパラリンピック・ホストタウン～

学校給食で**ポーランド料理**に舌鼓



給食委員がポーランドの国旗や
国名の由来を紹介しました



ロールパン「カイザーロール」
ウイナー・トマトの煮込みスープ「ビゴス」
マッシュポテト、チーズケーキを
おいしくいただきました！



ポーランドのレスリング協会と2020東京
五輪事前合宿等を行う覚書を締結し、**県内唯一のホストタウン**になっています！

これからの高岡市

市民創造都市に向けて～第3次総合計画の推進～

未来の高岡市 (めざすまちの姿)

文化力・創造力・市民力という3つの強みを活かし、共創・再発見・発信によって、17のめざすまちの姿を一つずつ形にしていき、市民創造都市 高岡を実現します。

未来の高岡に
ワクワクするね!

17の めざすまちの姿

1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している



2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある



3 世代を超えて受け継がれてきた歴史遺産が大切に継承され、輝いている



4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている



5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている



6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている



7 交通ネットワークを活かし、奥西部の中核的役割を果たしている



共創

再発見

発信

8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる



9 教育を通じて個性を伸ばし、生きる力を高め合っている



10 いくつになっても興味のあることを気軽に学んでいる



11 いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる



12 誰もが生き生きと自立して暮らしている



13 健康な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる



14 地域の人々の手で環境が守られている



15 安全で快適な生活を送っている



16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている



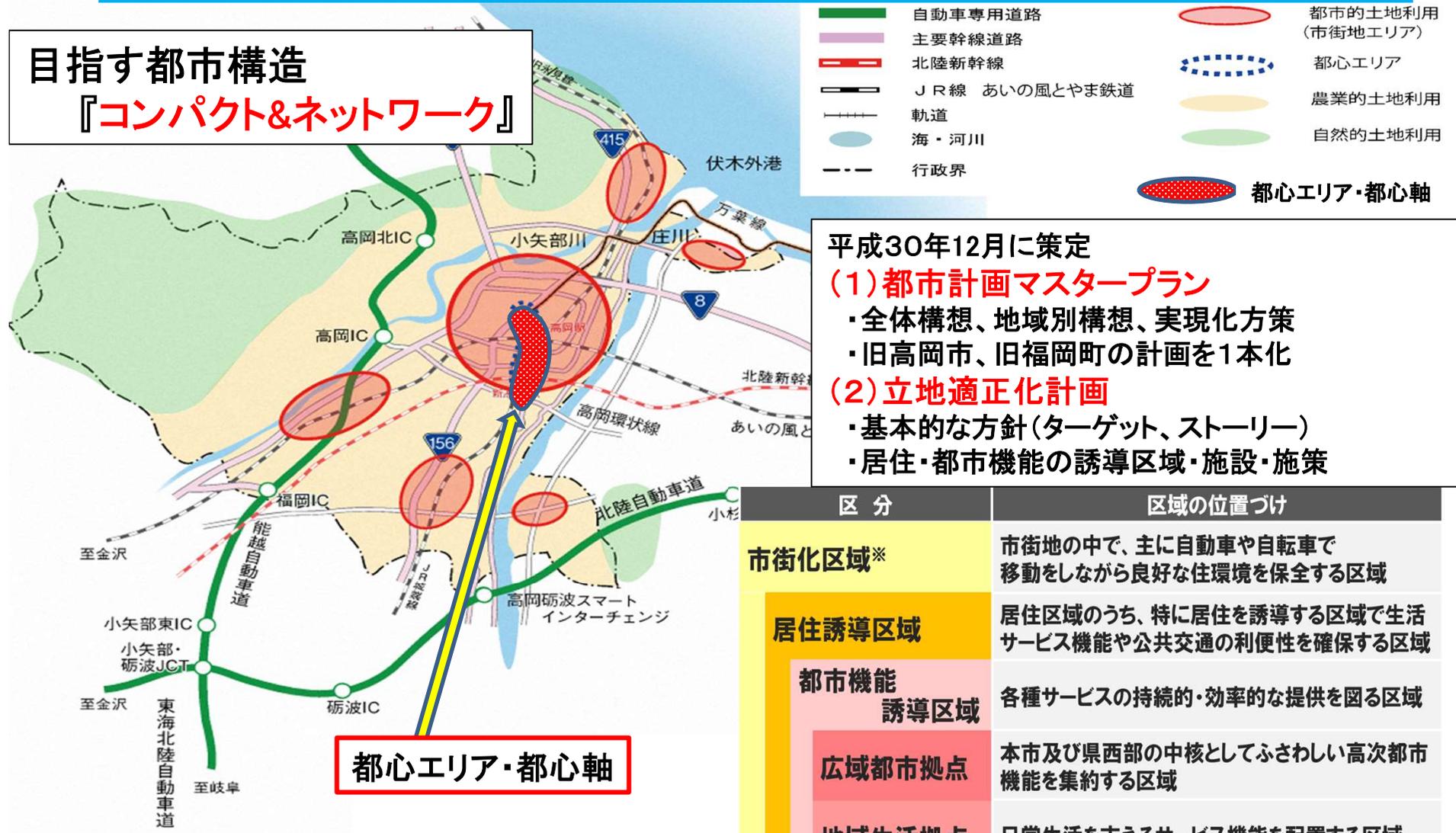
17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる



コンパクト＆ネットワークの都市構造

目指す都市構造

『コンパクト＆ネットワーク』



- 自動車専用道路
- 主要幹線道路
- 北陸新幹線
- JR線 あいの風とやま鉄道
- 軌道
- 海・河川
- 行政界
- 都市的土地利用 (市街地エリア)
- 都心エリア
- 農業的土地利用
- 自然的土地利用
- 都心エリア・都心軸

平成30年12月に策定

(1) 都市計画マスタープラン

- ・全体構想、地域別構想、実現化方策
- ・旧高岡市、旧福岡町の計画を1本化

(2) 立地適正化計画

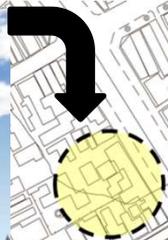
- ・基本的な方針(ターゲット、ストーリー)
- ・居住・都市機能の誘導区域・施設・施策

| 区分 | 区域の位置づけ |
|----------|--|
| 市街化区域※ | 市街地の中で、主に自動車や自転車での移動をしながら良好な住環境を保全する区域 |
| 居住誘導区域 | 居住区域のうち、特に居住を誘導する区域で生活サービス機能や公共交通の利便性を確保する区域 |
| 都市機能誘導区域 | 各種サービスの持続的・効率的な提供を図る区域 |
| 広域都市拠点 | 本市及び県西部の中核としてふさわしい高次都市機能を集約する区域 |
| 地域生活拠点 | 日常生活を支えるサービス機能を配置する区域 |

都心エリア・都心軸

※ 福岡都市計画区域においては、市街化区域を用途地域と読み替えます。

都市機能の集約とコンパクトシティ①



末広西地区再開発
レーベン高岡 Mid Rise Tower
地上16階、全98戸 (H31.3月完成)



富山銀行
(※R1.11月オープン)
地上8階、新本部・本店

交流広場
(※富山銀行のオープンに合わせて)

ルートイン高岡
(H29.3月オープン)



高岡駅前東地区
複合ビル Sorae高岡
看護専門学校、医師会、店舗など
(H29.3月完成)



駅前東自転車駐車場
766台駐輪可
(H30.3月完成)

アパシティ構想(建設中)
マンション 地上15階 130戸
(R2.8月完成予定)
ホテル 地上11階 373室
(R2.3月完成予定)



都市機能の集約とコンパクトシティ②

イオンモール高岡

増床・リニューアルオープン
令和元年9月14日

⇒北陸エリア最大級のモール

「わくわく・きときとプロジェクト」

北陸最大の「わくわく」な体験・発見と「きときと」な人たちが集まる場所へ

- ・新高岡駅から徒歩4分
- ・北陸最大級の屋内型「子どもの遊び場」や大型イベントスペース
- ・既存棟と増床棟を2階ブリッジでつなぐ
- ・伝統産業青年会による新モニュメントの制作
- ・「e-スポーツ大会」なども開催

店舗数: 200店舗(+70店舗)

駐車場: 4,400台

フードコート: 全1,400席

敷地面積: 約205,000㎡(+約60,000㎡)



「セリオタウン」と中心市街地活性化

R1.8.25の大和閉店を受け、「まちなか」に生じたこの貴重な空間を積極的に活用して、まちなかの活性化を図る。

○「セリオタウン」構想 (オタヤ開発株式会社)

⇒市民が集い、交流する場の創出

⇒・生活必需品、良品・逸品などの販売の他、飲食等の充実とともに、

・既存の公共サービスや文化発信機能に加え

・市民の交流の場、新たなビジネス・文化の拠点づくり、

・子育て環境等公益的機能の導入

⇒3ヶ年計画で空きフロアの充足に向け取り組む

○中心市街地に生まれた貴重な空間 ⇒積極的に活用

⇒公益的機能＝子育て支援機能、ビジネス・文化・交流機能の導入

○中心市街地活性化のために

⇒中心市街地賑わい創出会議 R1.7～

⇒順次、セリオタウンの機能整備

R1.9.11 大和のサテライトショップ、一部テナント

年末に向けて ・既存テナント等集約して、1階を中心にリニューアルオープン

・7階にレストラン入店

～ネットワークの強化～

平成30年6月20日
能越自動車道
福岡料金所の撤廃
に伴う交通量増大

■料金変更前後の主な区間の交通量の増減

<年間の日平均交通量>

氷見ひみ ～ 氷見南ひみみなみ : 101百台/日 (+ 4百台/日) 約 4%増加

氷見南ひみみなみ ～ 高岡北たかおかきた : 111百台/日 (+ 7百台/日) 約 7%増加

高岡北たかおかきた ～ 高岡たかおか : 137百台/日 (+29百台/日) 約 27%増加

高岡たかおか ～ 福岡ふくおか : 150百台/日 (+84百台/日) 約127%増加

福岡ふくおか ～ 小矢部東こやべひがし : 112百台/日 (+29百台/日) 約 35%増加

(参考) 国道8号高岡市宝来たかおかからど : 168百台/日 (-33百台/日) 約16%減少

※集計期間 料金変更前H29. 6. 20～H30. 6. 19
料金変更後H30. 6. 20～R 1. 6. 19

国土交通省富山河川国道事務所
富山県道路公社
記者発表資料より(R1.6.20)



高岡IC～高岡環状線へ
国道8号を越える**六家立体**の事業化

～魅力あるしごとづくり～

○企業立地の促進について

- ・新産業団地「ICパーク(16ha)」の完成・分譲開始
8区画中4区画を売却(全体面積の30%:R1.9月時点)
- ・地域未来投資促進法に基づくものづくり産業への支援
- ・企業立地への支援

○高岡新産業創造プラットフォームの推進について

- ・創業や事業承継に取り組む事業者への支援
- ・地域資源の活用、農商工連携事業の推進
- ・国内外への地場製品の販路開拓への支援
- ・富山県総合デザインセンターの機能や事業の充実と高岡市デザイン・工芸センターとの一層の連携強化
- ・産業観光に取り組む事業者への支援

○高機能素材の活用の促進に向けたものづくり研究拠点の形成支援について

- ・富山水素エネルギー導入促進協議会の活動支援
- ・富山大学国際連携先端材料研究センターを二上地区(富山県ものづくり研究開発センター隣接地)への誘致の支援
- ・紙・プラスチックの融合 ⇒ **新素材生産工場**の建設着手
⇒ セルロースナノファイバーの実証プラント建設などへ支援



北陸自動車道 高岡・砺波SIC

北陸自動車道 高岡・砺波SICに近接して
産業団地ICパーク高岡を造成

～子ども・子育ての ひとづくり①～

子どもたちの連続した成長を切れ目なく支援します

- 高岡ならではの**小中一貫教育**の推進
 - ・H31.2月に総合教育会議において「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置の基本的な方向について」を決定
 - 国吉中学校－国吉小学校 → **R2.4月1日 国吉義務教育学校を設置**
 - ⇒**9年間の学び**を連続して支援
- **今後10年を視野**に、市内の小中学校の望ましい配置を検討
 - ・五位中学校区で先行して方針決定
 - R2.4 石堤小学校と東五位小学校を統合
 - R6.4 石堤・東五位小学校、千鳥丘小学校を統合 ⇒ 統合小学校を開設
- **ICT教育の推進**
 - ・タブレット導入
 - ・慶應義塾大学と連携し、**遠隔授業を市内全中学校12校**で実施(R1.11～)
- **普通教室へのエアコンの設置**
 - ・市内全ての小学校・中学校に設置(令和元年9月までに設置済み)

～子ども・子育て世代のひとづくり②～

子どもたちの24時間をサポートする社会づくり

○ 成長過程に応じた**子どもの24時間をサポート**する社会づくり

- ・母子の産後ケア
- ・子育て支援センターや相談支援体制の充実
- ・認定こども園の拡充(R1現在 16園)
- ・多様な保育サービスの充実
(病児:3施設、病後児:2施設、延長保育:39園など)
- ・地域と連携した放課後児童クラブの充実

○ 保育料負担の軽減

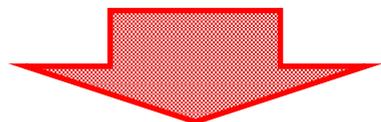
子育て世帯を応援し、**社会保障を全世帯型へ**抜本的に変えるため、R1.10月、**幼児教育・保育の無償化**を実施。生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性から、幼児教育の負担軽減を図るもの。

【**幼児教育・保育無償化**の対象】(令和元年10月から実施)

- ・3～5歳児:所得に関わらずすべての児童
- ・0～2歳児:市民税非課税世帯の児童
〔対象施設:幼稚園、保育園、認定こども園など〕

～子ども・子育ての ひとづくり③～

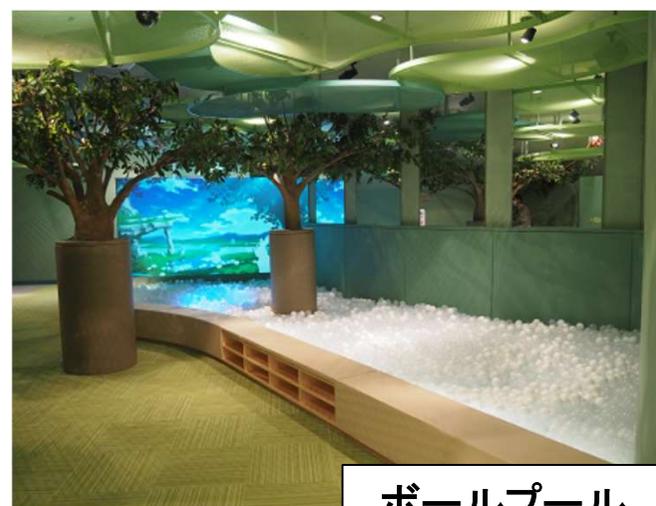
H31.3月、子どもの「居場所(遊び場)」
の充実を図るため、おとぎの森公園に
全天候型の屋内遊具を設置しました



子どもたちがゆっくり過ごせる空間の創出
⇒ 遊び場機能の充実・強化



ジャンピン



ボールプール

～北陸新幹線と「とやま呉西圏域」～



北陸新幹線の整備促進及び利便性向上について

- ・新高岡駅の「かがやき」停車に向けた取り組みへの支援
- ・「はくたか」の所要時間の短縮など新高岡駅の利便性向上に資する運行形態の改善
- ・金沢・敦賀間の2022年度末までの確実な開業
- ・大阪までのフル規格による早期整備とスケジュールの明確化、中京圏とのアクセス確保

「とやま呉西圏域」連携中枢都市圏の取り組みに対する支援の充実について

- ・「とやま呉西圏域」連携中枢都市圏の取り組みに対する支援

(R1事業)

予算化事業数 30事業 (H30:27事業)



| 圏域の役割 | R1 予算 | (参考)H30 予算 |
|---------------------|-----------|------------|
| ア 圏域全体の 経済成長のけん引 | 53,570千円 | 54,491千円 |
| イ 高次の都市機能の 集積・強化 | 148,628千円 | 159,431千円 |
| ウ 生活関連機能 サービスの向上 | 563,327千円 | 145,132千円 |
| 合計額(ア+イ+ウ) | 765,525千円 | 359,054千円 |

財政健全化緊急プログラム【取り組み内容の概要】 (平成30年度決算・令和元年度予算ベース)

【目標】

収支均衡した財政構造(2023年度当初予算編成時までに構造的な約40億円の歳出超過の解消)

【実施期間】

2018(H30)年度から2022年度まで【5カ年】

(1)投資的経費の抑制(目標額:公債費で△3億円)

(4)事務事業の見直し(目標額:△15億円)

(2)公債費の平準化(目標額:△7億円)

(5)総人件費の圧縮(目標額:△5億円)

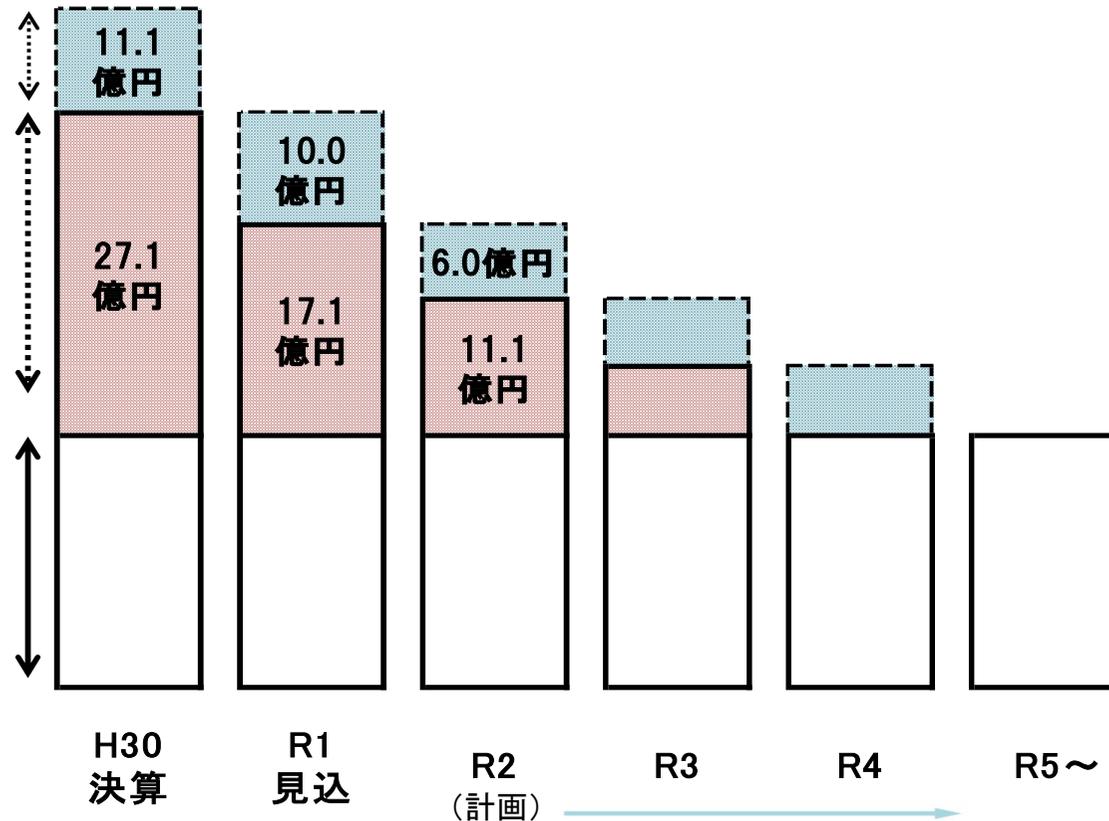
(3)公共(的)施設管理コストの縮減(目標額:△6億円)

(6)歳入の確保(目標額:+4億円)

歳入面、歳出面における
5年平均8億円の改善
(改善分)

財源対策分

収支均衡の
財政構造



約40億円の歳出超過
(H29.12時点の見込み)

～公共施設再編の取り組み～

今後の人口減少、施設の老朽化、これらに伴う更新コストや維持管理コストを考慮すると、将来を見通して、施設の総量適正化を図ることは不可欠。
そのため施設機能の整理・統合を図りながら、再編を進めていくことが必要。
公共施設再編計画により、計画的・体系的な取り組みを進めている。

【公共施設再編計画(H30.3策定)】

＜目的＞公共施設の総延床面積を**2035年度までに15%削減**するという目標のもと、個々の施設の集約化、譲渡、廃止など、今後の方向性を示した。

＜計画期間＞ 2018年度～2035年度（18年間）

＜対象施設＞ 本市が保有する公共建築物（**373施設、661,714.61㎡**）

【これまでの取り組み】

- ・再編を進めるにあたり、地域住民や関係団体に積極的に説明する機会を設け、十分にご議論、ご理解いただきながら取り組んでいる。
- ・再編計画で実施時期が「短期」となっている施設の再編や「方針決定」となっている施設の方向性の検討に取り組んでいる。

【R1年度の再編実績】

- ◆長生寮の民営化(H31.4)
- ◆だいがりサービスセンターの民営化(R2.4)に向けた取り組み
- ◆集会所及び防雪センターの譲与(R2.4)に向けた取り組み 等

